

バス停タイムス

2013年6月27日

No.11

発行者

成田隆浩

編集者

教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

SMTとの団体交渉開催決定！

JR東海労新幹線地本はSMTに対して、労働条件改善・職場環境改善を求めて団体交渉の開催を申し入れていました。

そして、明日6月28日に団体交渉を行うことが決まりました。

団体交渉では、組合員の出向先の労働条件や、ダイヤ改正後に大幅に変わった作業環境を改善するために協議します。

私たちが団体交渉を申し入れたことに対して、激励の声が多くの皆さんから寄せられています。私たちは出向組合員のみならず、一緒に働いている皆さんの労働条件や作業環境にとっても重大な事であると認識し、明日の団体交渉に臨みたいと思います。

SMTは皆さんの声にこたえて、誠意ある回答をするものと期待しています。

安全で明るく働きやすい職場をつくるため共に声を出そう！

一人ひとりの声が集まれば大きな力になります。それが安全で明るく働きやすい職場につながると信じています。これからも「おかしいことはおかしい」と声を出すことが必要です。

勇気をもって皆で会社に向かって声を出していきましょう！



休日・年休をしっかりとれる要員を！

大量退職を生みださない環境を！

賃金・諸手当の改善を！ 社員登用の拡大を！

ロッカー室・詰所・点呼場を広く！ 検修庫の暑さ対策を！

庫間移動のない作業を！ 作業マニュアル見直しを！

通勤バスの改善を！ 何より労働者を大事に！

退職後もボーナスカットするJR東海！

6月はボーナスの時季です。JR東海は過去最大の利益を得たにもかかわらず、今年度もベアゼロという厳しい対応をしました。これはリニア中央新幹線のために徹底したコスト削減を図る一環であるということは間違いなく、誰も疑うことはありません。

そんな中、今回も組合員に対する不当なボーナスカットが行われました。そして、今回あろうことか、5月に退職した先輩組合員に対してもボーナス5%カットということが平然と行われました。

今回ボーナスをカットされた先輩組合員は、国鉄からJRと40年以上にわたって並々ならない労苦を経て、現在のJR東海の礎として貢献した一人なのです。そして、職場では組合の所属を問わず多くの社員から慕われる抜群の存在感のある方です。そのような功労者に対するJR東海の仕打ちを目の当たりにして、ほとんどの社員がただただ呆れ果てています。

私たちJR東海労新幹線地本は、このような会社の理不尽な対応を絶対に許すわけにはいきません！ 不当極まりないボーナスカット撤回のためにあらゆる手段を駆使して闘います。

“ならぬものはならぬ！”

黙っては何も変わりません。

会社の理不尽を見過ごすことなく

労働者の立場に立って闘おう！！

